

研究者として世界の中で 存在感を示していける

澤田 宏

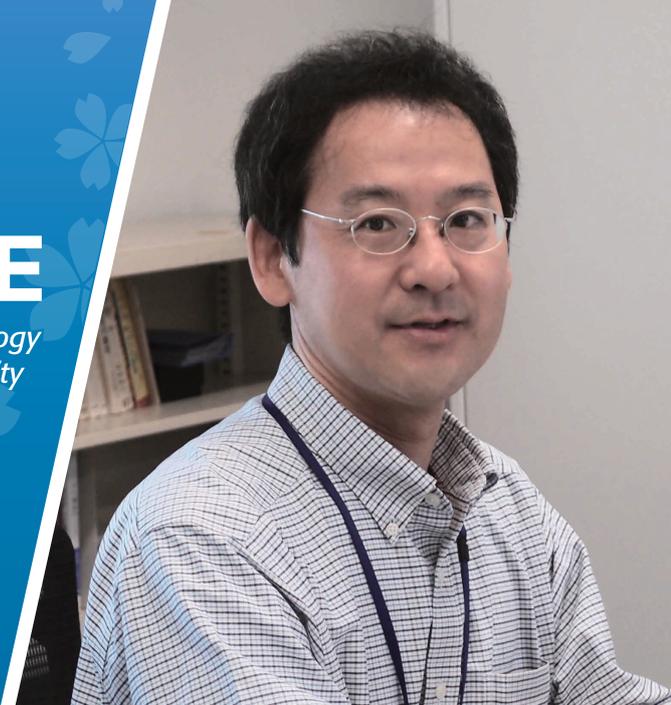


【経歴】

1991年 京都大学工学部情報工学科卒業。1993年 同工学研究科情報工学専攻修士課程修了。2001年 京都大学博士(情報学)。1993年 日本電信電話株式会社(NTT)入社。以来、同社コミュニケーション科学基礎研究所およびサービスエボリューション研究所において、VLSI設計技術および計算機アーキテクチャ、信号処理技術(音響信号の分離技術)、機械学習技術(多次元データ分析技術)の研究に従事。現在は NTT コミュニケーション科学基礎研究所 協創情報研究部部长(上席特別研究員)。IEEE Fellow、電子情報通信学会フェロー、日本音響学会会員。

【現在の研究】

音響信号のブラインド音源分離の研究を続けると共に、音響信号だけでなくその他のデータ分析にも興味を持ち、機械学習の研究も行っている。様々なデータを扱うため、他分野の研究者とのコラボレーションも積極的に行っている。



IEEEに入会したきっかけは？

信号処理の研究を始めて一定の成果が出て、IEEE Signal Processing Society (SPS) のフラグシップ国際会議である ICASSP (International Conference on Acoustics, Speech, and Signal Processing) で発表することになったことを機に会員になりました。IEEE の存在は昔から知っていたものの、以前の研究分野のコミュニティでは、IEEE との繋がりがそれほど強くありませんでした。信号処理の分野に変わり、IEEE との関りがかなり強くなったことも入会のきっかけです。

IEEEの魅力は？

『世界の研究者と議論できる国際会議、引用される論文』

国際会議は研究が成熟する前の段階で参加者に聞いてもらえる貴重な場です。世界中からその分野の専門家が一同に介する場で議論ができ、研究をより良くしていくのに最適なのです。他の人の発表も関連する内容が多く、刺激を受けます。

また私は、国際会議で発表した研究がうまくまとめられ、論文誌に投稿しているのですが、国際会議でも論文誌でも、IEEE が関連していると目立ちやすく、読んでもらいやすいです。実際に引用数も増えやすいと感じています。きちんとまとめた論文を広く知ってもらうことができるのも、IEEE の魅力です。

『人脈形成とスキル向上に役立つ委員会活動』

私は、国際会議の研究専門委員や論文誌の編集委員などの活動に参加していて、そこで得られる人間関係や客観的視点は、自分のキャリアに大いに役立っていると感じています。

国際会議では、特定の研究分野の委員会メンバーが集まり、様々な話し合いをするので、世界の先端で活躍されている人たちと関係が深められ、有益な情報も得られます。

論文誌の編集委員という立場では、査読者とのやり取りの中で他人の論文への客観的な評価に多く触れ、論文の書き方という点で大変勉強になっています。自分が査読者となる機会も多く、どのような記述が分かりやすく研究成果をアピールできているか、どの部分は分かりにくく書き直すべきかの視点は、自分がひとりの研究者として論文を投稿するときに活かすことができています。

会社と IEEE との関わりは？

私が所属している会社は会社として積極的に IEEE の活動に関わっており、社員たちが活動に参加しやすい環境になっています。

冒頭に紹介した国際会議 ICASSP では、企業紹介の場である Student Career Luncheon という企画があり、当社もここに参加し、学生さんに当社のブースに来てもらい、就職に繋がるようなお話をするという事もやっています。また、IEEE での活動と会社業務との結びつけ方が、先輩から後輩に引き継がれて、

より多くの社員・研究者が国際会議や論文誌や委員会活動で活躍でき、人材育成の面でも所属組織をより良くしていく力のひとつになっているように感じています。

IEEE を勧める理由

IEEE の中には、自分たちの研究成果を広く知ってもらえることができ、さらにその研究内容を世界のどこかの研究者がフォローし、発展させてくれることで良いループが回っていく。そうして世界の中で存在感を示しながら研究活動を続けることができる場なので、研究者には積極的な参加をお勧めします。

私も実際に、IEEE の国際会議で出会った他国のメンバーと、音源分離の技術を競い、その結果をまとめようという試みを行えたという経験をしました。それは、会議後の食事の席で相談しながら始めたものでしたが、結果的に10年も続けることができました。

もし入会していなかったら、私はここまで充実した研究者生活は送ってこれなかったと思います。

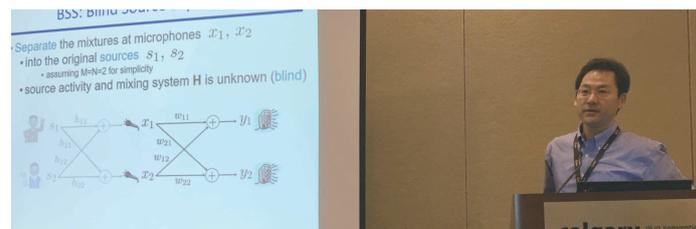
【メッセージ】

～地元で繋がり、世界へ発信する入口となるのが IEEE ～

IEEE は、世界で最も大きい学会と言っても過言ではありません。活動に参加することで世界と繋がる入口になりますし、逆に言うと、こういうところに関わらないと世界への道はそんなに簡単に開かれないのではないかという気がしています。

一方で、最近では日本国内でも活動が盛んになってきており、地元でのイベントも増えてきて、地域の研究者とリアルに交流できる場にもなっています。世界と地元、両方の活動に寄与できるのが大きなメリットですね。

会員が増えれば、繋がることのできる人の幅もひろがり、一人ひとりの可能性がどんどんひろがっていくと思いますので、ぜひ IEEE で我々と繋がっていただければと思います！



URL

<https://ieee-jp.org/about/voice.html>

